

この言とそれに必然的に伴うものの重要性は、言者がそれを天国における永久の生命への手段の一つと定めたことを、誰もが知ることが出来ます。彼はこう言っています：

“死ぬ前に ‘?? ????? ??????’
' と言い、それに忠 なまま死んだ者は、 に入るのだ。”（サヒ フ ブハ リ）

こうしてこの言はイスラ ム第一の柱とみなされ、またそれによって人は信仰者となり、天国に入る 会を与えられるのです。

しかし、シ ア信奉者にはこれとは なった ‘信仰 言’ があります。以前の 事でも示したように、彼らは神以外のものを神と べて配することによってその意味を否定するだけでなく、 威ある典 には存在しないような原理を新たに付け加えたのです。彼ら~~の~~?? は、次のような供述となっています：“神以外に崇 に するものはなく、ムハンマドはかれのしもべであり、使徒である。そしてアリ はかれに された者、 ばれた者であり、言者の 者である。^[1]

この付加は、彼ら~~が~~その思想の起源をそこに 属させるところの、言者ムハンマドの 兄弟アリ に する 端な思想に由来します。更にシ ア信奉者は、去の 言者に下された 示にさえもまた、アリの 承 が述べられていると主 しています。
。彼らは 判の日、全人 はアリの 承 に し~~て~~ され、そしてそれを めていなかった者は多神教徒と なされることも主 し~~ま~~す。
。アリ は、言者の教友たちの中でも最も敬虔な者の一人として知られていました。しかし 言者ムハンマドがその存命中に、彼を 者として指名したという 承はどこにも 当たりません。更にはシ ア思想初期の著述を てみると、彼ら自身この信条を、背教者アブドッラ ブン サバアに しています。この人物は第三代カリフ ウスマ ンの暗 を企み、更にはアリ が神自身であると主 し~~た~~男です。それゆえこれらの信条は、言者ムハンマド（彼に神の称 あれ）によって かれたものではないことは明白であると言えます。

典への信念

しかしシ ア信奉者は、彼らのイマ ムたちが 言者よりも れていると信じてあり、一部の 言者たちが高く称 されたのは、彼らのイマ ムたちに する 情によるものだというのです[11]。

本来のイスラ ムの教えとは なるシ ア思想の信条の全てを枚 するのであれば、本が何 も必要となります。しかしながらこの短い 事によって、シ ア思想はその信条において本来のイスラ ムの教えに忠 ではなく、むしろイマ ムとして知られる偏 を受けた特定の指 者候 に する 端な思想であると同 に、 代と共に 化していった外来信仰の 多な み合わせであるということは明らかになったことでしょう。全 言者によって かれた教えである神のみへの崇 と、神の 言者たちによって教えられた方法に基づいた生き方を教える宗教は、アリ への のみに基づいた人生と存在、そして彼とイマ ムたちが指 者であるという主 に 化し、そしてそれらはイスラ ムの原典に する追加や改 、またはりの 述を みるという行 に がつたのです。更にまた 造物の成立、 言者の使命と 典の 示は、アリ とイマ ムたちの 承 のみを目的としてお[12]

、 判の日には神ではなく、彼らのイマ ムが人々を 判するのだとされてしまいま[13]。シ ア思想にとって、天国や火 に入る基 というのが何なのかは想像に くありません。

彼らの主 する、 言者ムハンマド（彼に神の称 あれ）の家族への に基づいた宗教は皮肉にも、彼によってもたらされた根本的教 とは れたところへと彼らを いてしまったのです。

Footnotes:

[1] *Abdul Kareem Mushtaq.*

[2] アル=クライニ 、カ フィ の 、 1/437

[3] *The Wilayat of 'Ali ibne Abi Talib (as), Answering Ansar.*

[4]

“でもアリ 以外のイマ ムを配し、アリ のカリフ就任を らせる者は多神教徒である。” (Al-Kafi fil-Usool, vol.10 p.

[5]

Rijaal al-Kishhi.

[6]

アル=クライニ 、カ フィ の 、 1/527-8、その他多数。

[7]

ウス ル カ フィ 、 1:228

[8]

Al-Anwar al-Nu'maniah, 2: 360-2.

[9]

Faslul Khitab Fi Tahreefi-Kitabi Rabbil Arbaab.

[10]

Wasa'il As-Sheea.

[11]

Bihaar al-Anwar (26:267).

[12]

I'tiqaadaat (106-7)

[13]

Rijaal al-Kishhi (337)

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/493>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。